

茅野市教育のめざすすがた

街中を子どもの学びの場
 ・子どものための学びの場
 ・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域
 づくりに参画する学校
 ～共生社会の中の学校

縄文のビーナスプラン②

地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と
 探求的な学び

茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・
 外部機関との連携

学校の取組

地域と共につくる学校

- 1 コミュニティ・スクールの充実 4 17
 (地域コーディネータによる運営)
 ・子どもの学びのための支援
 ・学校施設整備への支援
 ・見回り(交通安全・不審者) 1
- 2 ボランティアの方による学びの支援 15
- 3 広報資料・ウェブサイトの作成 7

宮川小学校では、学校運営協議会とコミュニティ・スク
 ール6部会の皆様に、安全・読み聞かせ・学習支援・裁
 培・放課後支援・家庭支援において支援をいただきます。

茅野市の働き方改革 宮川小学校

(1 2 ……の番号は裏面参照) R8. 3

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり
 ～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに
 生きる教職員

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン①

共生社会をつくり、子どもたちの
 多様性を包み込む学校

茅野市働き方改革の目標

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり

—教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境—
 —時間を生み出す工夫をしていく—

働き方改革の核

～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と
 子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と
 5 19 精神的負担の軽減

市の社会福祉部門との連携

学校業務の効率化・軽減化

- 1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握
- 2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化
- 3 業務支援員の配置 16
- 4 会議、提出物の精選化
- 5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)

宮川小学校では、日課を見直し、6時間授業のときは下校時刻を15時35分、5時間授業
 のときは14時50分にして、授業準備の時間を確保します。

教育課程の改善

- 1 1時間単位の授業の弾力的運用
 (中学校)
- 2 小学校教科担任制
- 3 教具・教材の共有化

宮川小学校では、高学年で教科担任制を導入し、教師の専門性
 をいかして、より質の高い授業を行います。学年会で教材等の
 共有をし、学年で授業の準備を行います。

働き方改革への市教委として教育活動への支援 ～リードから支援とアドバイスへ～

- 1 読書活動応援センター(読書指導への支援)
- 2 ICTサポートセンター(ICT教育のため
 12名を配置) 8
- 3 発達支援センターと特別支援教育支援員の
 配置(40名)
- 4 公民館等の公共機関による出前講座等によ
 る支援

- 5 いじめ対応の学校支援員会 ・アドバイザーの配置 (弁護士、医師、心理
 の専門家・学識経験者)
- 6 部活動の地域展開 (土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動は
 R13年度までに完全展開) 13
- 7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルー
 ム)まなざし 県費1名、市費10名の教員配置
- 8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 14

教職員のメンタルヘルス

- 1 ストレスチェックの活用
- 2 市独自のストレスチェックテスト
- 3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)
- 4 教委による外部相談・医療紹介